

映像の項目・内容	指導・支援の内容、ポイント
<p>1 今日どんな服を着ていく？</p> <p>◆衣服の保健衛生上の機能</p> <p>◆衣服の社会生活上の機能</p> <p>◆T.P.O.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 衣服の保健衛生上の機能には、「快適さ（体温の調節）」、「皮膚の保護」、「清潔さの保持」という側面がある。「快適さ（体温の調節）」という面では、人間が快適に感じるのは、衣服内の温度が31～33℃、衣服内の湿度が40～60%の状態と言われている。「皮膚の保護」は映像中で紹介した日焼けや虫から身を守る以外に、乾燥などから身を守る機能も有している。「清潔さの保持」という面では、人間の皮膚からは汗や皮脂が分泌されていることから、衣服がこれらを付着させて取り除く役割があることを押さえておきたい。 ◇ 衣服の社会生活上の機能は、冠婚葬祭時の衣服や民族の慣習による衣服、職場や学校の制服などに見られる側面である。歴史上では着ている衣服の色などで階級を示す時代もあった。現在はそのような側面は薄れているが、映像中で紹介したように、相手に敬意を払ったり社会生活を円滑にしたりするためにT.P.O. [Time (時)・Place (場所)・Occasion (場合)] を考えることは依然として求められている。その他にも、現在では、衣服は自己表現のひとつの手段であったり、より機能的な衣服が開発されていたりという面にも触れておきたい。 ◇ 機能的な衣服は身近なものになっていることもあり、生徒に例を挙げさせてもよい。冬場に着用する保温性のある下着、夏場に着用することを目的とした涼しく感じさせるシャツ、また空気や水の抵抗を考慮したスポーツウェアや競泳用水着などさまざまなものがある。
映像の項目・内容	指導・支援の内容、ポイント
<p>2 気に入った服を買うときに確認する優先順位は？</p> <p>◆衣服のサイズ</p> <p>◆衣服の素材（繊維）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 衣服のサイズについては、DVDではサイズ表示でしか紹介ができなかったこともあり、可能であれば国内メーカーが製造したものと海外メーカーが製造した製品の実物を見せて比較し、実感を持たせたい。インターネットを利用したオンラインショッピングの比率が高まってきていることもあり、このようなサイズに関する知識が不可欠になってきている。またここでは紹介しなかったが、「試着」の重要性にも触れておきたい。特にスポーツをやっている生徒などがズボンを選ぶ際に、ウエストや足の丈だけ確認して購入すると、太もものサイズが合わないということが起こりうる。また、実際に試着をしてみても、サイズ以外にも質感などを感じ取れるところが試着の利点である。 ◇ 衣服の素材（繊維）については映像中では簡単に触れてはいるが、以下のような点を確認しておきたい。まず繊維には天然繊維と化学繊維がある。天然繊維は植物や動物などの自然の素材から作られる繊維で、主に綿や麻などの植物繊維と毛や絹などの動物繊維がある。植物繊維のうち、綿花から作られる綿は肌触りが良く、肌着など身体によく触れるものに使われ、植物の茎や葉から作られる麻は、触ると冷たく感じる特徴があるため、夏用の衣服として多く使われている。動物繊維は、動物たちが寒さなどから身を守るための毛などを用いて作られている。例えば羊の毛から作られる羊毛は、空気を多く含むことができ保温性に優れているため冬用の衣服によく使われる。絹はカイコが吐き出す糸から作られている。光沢にとんでいてしなやかなため、ドレスやネクタイ、和服などに使われている。ただ、世界的な人口の増加に伴い、多くの繊維が必要になっており、人工的に作られる化学繊維の需要が伸びてきている。化学繊維には天然のセルロースを原料とするものと石油を原料とするものがある。機会があれば、繊維見本を使って質感を確かめたり、燃焼の仕方を比べるなどの実験を行ったりする活動を取り入れても良い。 ◇ 2016年から洗濯の仕方、干し方、アイロンのかけ方など衣類の取扱を示す洗濯表示が変更になった。これまでは日本独自の表示が使われていたが国際規格に合わせ、記号や数字、アルファベットだけのマークになっている。洗濯表示を国際規格に合わせることで衣類の輸出入をしやすくする狙いがあると言われている。
映像の項目・内容	指導・支援の内容、ポイント
<p>3 着なくなった衣服、どうする？</p> <p>◆衣服のリサイクル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 繊維製品は、ほとんどのものがリサイクル可能とされている。例えば古着の再生工場などでは、回収された衣服は、まず“リユースできるもの”と“そうでないもの”を分けることから始めている。リユースできる衣服は輸出されることが多く、輸出先としては日本人と体型が近いという点からも東南アジア諸国が多くなっている。 ◇ 衣服のリサイクルは「マテリアルリサイクル」「ケミカルリサイクル」「サーマルリサイクル」と大きく3つに分類されている。「マテリアルリサイクル」は、映像中で紹介した布から繊維を綿状にする反毛のほか、裁断して工場などの油ふき用の布にするウエスなどがある。「ケミカルリサイクル」も映像中で紹介しているが、細かく粉碎した後に化学的に分解し、元の原料に戻して繊維の原料にする方法を指す。

<p>◆衣服のリユース ◆衣服のリフォーム・リメイク</p>	<p>◇ ポリエステルのほかナイロンでもケミカルリサイクルが行われている。「サーマルリサイクル」は焼却処理をすることであるが、単なる焼却というわけではなく、焼却時に発生するエネルギーを発電などに再利用することから、リサイクルのひとつと位置付けられている。</p> <p>◇ 「リユース」とともに「リセール」という言葉も最近では聞かれるようになってきている。有名ブランドの衣服や傷みのない衣服はリサイクルショップで現金化することも可能である。また、ネットオークションや最近ではスマホアプリなどを利用して個人売買する人も増えていることにも触れておきたい。これは不要なものを売って必要な人が購入するというサイクルになっており、資源の有効利用だけではなく両者にとってメリットがある。しかし必ずしも値段がつくとは限らず、その際にどう処分するかを考える必要があることは押さえておきたい。</p> <p>◇ 学生服は高価なものであり、近年扱うリユースショップが増えてきている。自分たちが住む地域にそのようなショップがあるかどうか調べてみることで、後々「持続可能な衣生活」の実践に結びつくかもしれない。</p>
映像の項目・内容	指導・支援の内容、ポイント
<p>4 初めての一人暮らし、住むならどこ？</p> <p>◆アパート・マンション</p> <p>◆学生寮・社員寮</p> <p>◆シェアハウス</p>	<p>◇ 本項目の映像を視聴する前に、そもそも住居（住まい）とはどのような役割や機能を持っているかを再確認しておきたい。例えば、風雨や自然災害などから身を守るという保護的な側面や、調理や食事、団らんとといった家庭生活の側面、休息や睡眠、趣味や仕事の場所といった個人的な側面などの役割や機能が挙げられる。</p> <p>◇ アパートやマンションを借りるときには家賃などにかかる経費が大きい旨を映像中では解説しているが、さらに「敷金」と「礼金」があることに触れておきたい。「敷金」は補償金的な意味合いを持つお金で、家賃を払えなくなった際に補てんしたり、退去する際の原状復帰にかかる修理の費用にこの敷金が充てられたりすることがある。一方で「礼金」とは部屋を貸してくれる人へのお礼的な意味合いがあり、両者の性格は異なる。敷金と礼金は部屋を借りる際に支払うものである。初期費用が家賃の5～6か月分近くかかってしまう場合があるということは押さえておきたいポイントである。ただ、最近では敷金と礼金がかからない物件も出てきている。</p> <p>◇ 学生寮・社員寮は、同一大学の学生や同じ会社の社員などのために用意されているものである。言葉からイメージすると築年数の経過したアパートのようなものを連想する生徒もいるかもしれないが、近年では「学生宿舎」といった名称のものも多く、トイレがついた個室だったり、共同棟に大浴場や食堂を設置したりしているものもある。似た表現だが「学生マンション」という形態が最近増えてきており、こちらは学生であることを条件に入居ができるマンション（必ずしも同一の学校に通う学生ではない）のことを指す。</p> <p>◇ 近年、シェアハウスの認知度が上がってきており、中でも“コンセプト”を持ったシェアハウスが増加している。映像中でも少し登場しているが、音楽を共通の趣味にする人が集まるシェアハウスやヨガスタジオ等があるシェアハウス、また起業家の人たちのためのシェアハウスといったものがある。</p>
映像の項目・内容	指導・支援の内容、ポイント
<p>5 家を借りるときに重視する優先順位は？</p> <p>◆間取り</p> <p>◆セキュリティ</p> <p>◆住環境</p>	<p>◇ 前の項目「初めての一人暮らし、住むならどこ？」とは異なる視点で、本項目では間取りやセキュリティ、ライフラインといった側面で住まいを考えさせたい。</p> <p>◇ まずは具体的な間取りの平面図を提示し、駅からの所要時間や家賃、敷金・礼金、管理費、完成年月などを確認すると同時に、方角などから日当たりや風通しを読み取れるようにしておくことよい。</p> <p>◇ セキュリティではオートロック付きの物件や防犯カメラ、管理人の存在という部分を紹介したが、例えば、同じアパートに住む人と日ごろから挨拶をするなど、近隣とのつながりを持つておくことは、不審者に気づきやすくなり防犯のひとつの対策になることも押さえておきたい。</p> <p>◇ 間取りやセキュリティだけではなく、快適な住生活を送るためにはその地域の特性や環境などを考慮に入れることが不可欠である。映像中に紹介した駅からの距離や公共施設、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなど以外にも、街の景観、自然の豊かさ、治安、物価など個人によって重視するものは異なってくる。より広い観点から、生徒に「快適な住環境」について考えさせたい。未成年の人は成人の人に比べて契約や取引の知識や判断能力が高くないとされ、民法では「未成年者が法定代理人の同意を得ないでした法律行為は取り消すことができる」とされている。しかし2022年4月から民法の改正により18歳で成年となるため、賃貸契約についても18歳に達していれば契約が成立する（取り消せない）点にも最後に触れておくようにしたい。</p>